

第8回インフラツーリズム有識者懇談会 資料



1. 前回までの議論の概要
2. インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト
各モデル地区の進捗状況と今後の予定
3. 「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の方向性
4. 今後の予定

1. 前回までの議論の概要

1. 前回までの議論の概要 — 懇談会の開催経緯 —

◆ インフラツーリズム有識者懇談会

第1回 (H30.11.9)	・インフラツーリズムのこれまでの取組と課題 ・インフラツーリズムの今後の方向性
第2回 (H30.12.25)	インフラツーリズムの拡大にむけて
第3回 (H31.2.26)	拡大にむけたまとめと来年度の取り組みについて
第4回 (R1.6~7) (持ち回り開催)	・モデル地区(5地区)の選定 ・プロジェクトロゴマークの決定
第5回 (R2.1.28)	・各モデル地区の進捗状況 ・今年度成果とりまとめの方向性
第6回 (R2.8.5)	・各モデル地区の進捗状況 ※現地協議会、ファムツアーの実施結果を踏まえた事業実施方針、 ツアー提案と今後の検討項目の整理 ・追加モデル地区(2地区)の選定 ※白鳥大橋(北海道)、日下川新規放水路(高知県)を選定
第7回 (R3.3.23)	・インフラツーリズムの拡大方策について...モデル地区での取組を分類 ・各モデル地区の進捗状況...現地協議会やモニターツアーの実施状況

1. 前回までの議論の概要 —モデル地区の概要—

なるこ ①鳴子ダム【宮城県大崎市】

- ・日本人の技術者により造られた日本初のアーチダムで選奨土木遺産
- ・周辺には温泉、名勝、史跡等があり、農業遺産である大崎耕土も含めた流域連携モデル



やんば ②ハツ場ダム

- 【群馬県吾妻郡長野原町】
- ・建設中ダムでの多彩な見学ツアー（やんばツアーズ）を開催
- ・建設段階から管理段階への移行モデル



あまがせ ③天ヶ瀬ダム【京都府宇治市】

- ・宇治市街地に近接
- ・立地を活かし、DMOと連携したツアー造成、淀川水系支流の高山ダムとの組み合わせなど広域連携モデル



くるしま ④来島海峡大橋 他 【愛媛県今治市】

- ・しまなみ海道上の世界初の三連吊り橋であり、塔頂体験ツアーを開催
- ・先行実施している明石海峡大橋のノウハウも取り入れ、長大橋のモデル



つるた ⑤鶴田ダム

- 【鹿児島県薩摩郡さつま町】
- ・九州最大の重力式コンクリートダムで水位低下時には明治期の発電所遺構が出現
- ・霧島連山や桜島等の広域周遊モデル



はくちょう ⑥白鳥大橋【北海道室蘭市】

- ・1998年に完成した東日本最大の吊り橋で、寒冷地における国管理の長大橋
- ・令和2年7月12日開業の民族共生象徴空間「ウポポイ」や登別温泉、クルーズが人気を集める室蘭港等との地域連携周遊モデル



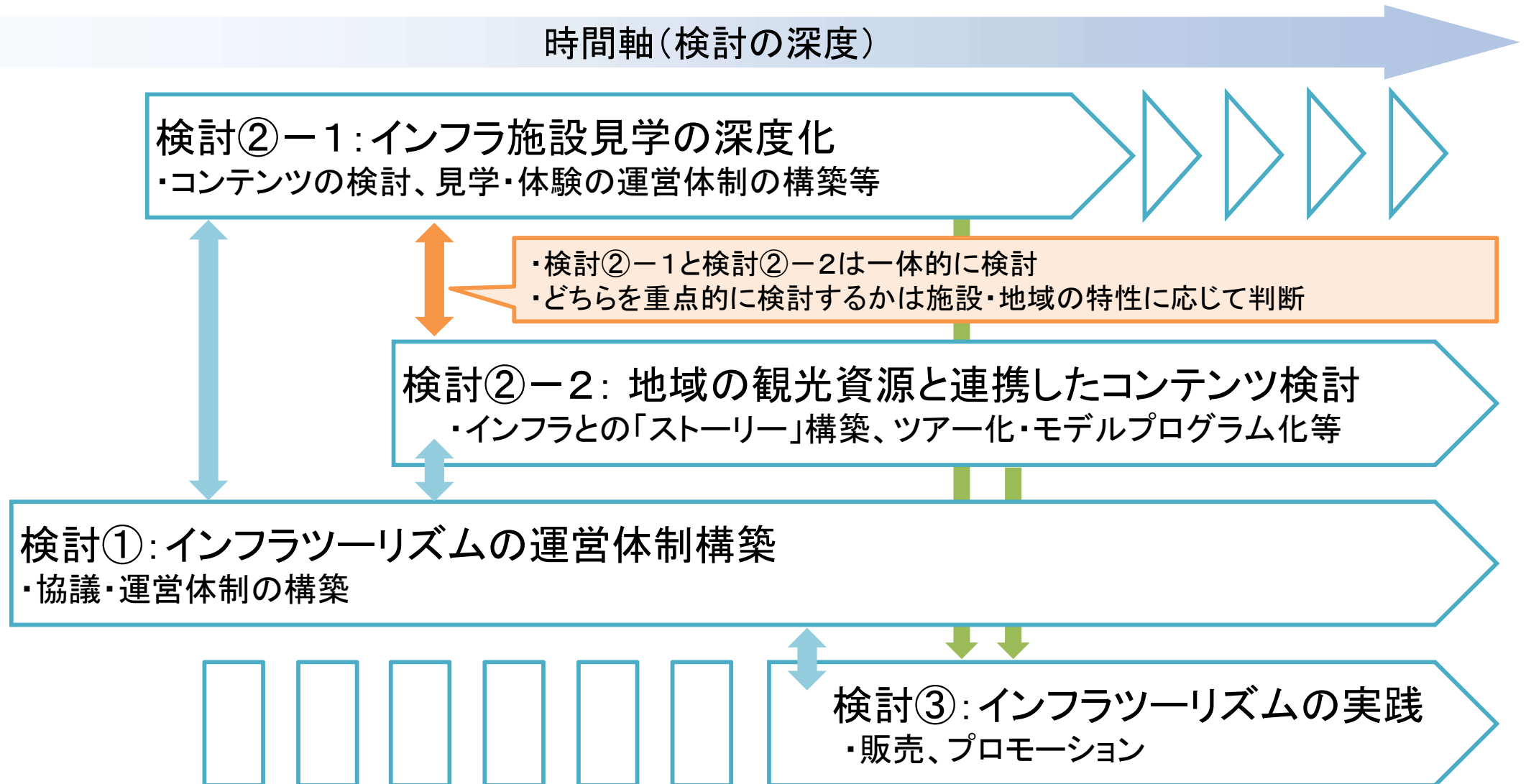
くさかがわ ⑦日下川新規放水路

- 【高知県高岡郡日高村】
- ・日本最長級(5.3km)かつ高度な技術が必要とする水路トンネルを現在工事中
- ・仁淀ブルー等の観光資源との連携を進めるとともに、工事現場の見学を通して、放水路、調整池等のインフラ施設と水害の関わり、歴史を紹介・学習する工事段階から管理段階への移行モデル。



1. 前回までの議論の概要 —モデル地区での取組内容—

- 検討①(インフラツーリズムの運営体制構築)を軸に、検討②-1(インフラ施設見学の深度化)、検討②-2(地域の観光資源と連携したコンテンツ検討)及び検討③(インフラツーリズムの実践)を検討していく



1. 前回までの議論の概要

— 第7回懇談会でいただいた主なご意見等(一部抜粋) —

モデル地区の進捗状況と今後の実施方針

- ・「誰にどのように売なのか」という出口の想定を立てていく必要がある。それが無いままモニターツアーを実施しても、単発のイベントとしての評価にしかない。
- ・インフラツーリズムの意義には、国民にインフラへの理解を深めていただくという面もある。施設の重要性や技術の先進性を伝えるといった目的はしっかり押さえる必要がある。
- ・モデル地区の自走に向けては、ツアーとして成り立つかや施設管理者がどこまで関わるかといった項目が検証されるべき課題であるとする。
- ・モデル地区の取組から何を読み取ることがポイントである。懇談会あるいはモデル地区の成果として、インフラを活用したことのできたこと、インフラを活用したことによる効果や地域の課題解決への寄与が見えると良い。

各モデル地区の取組内容

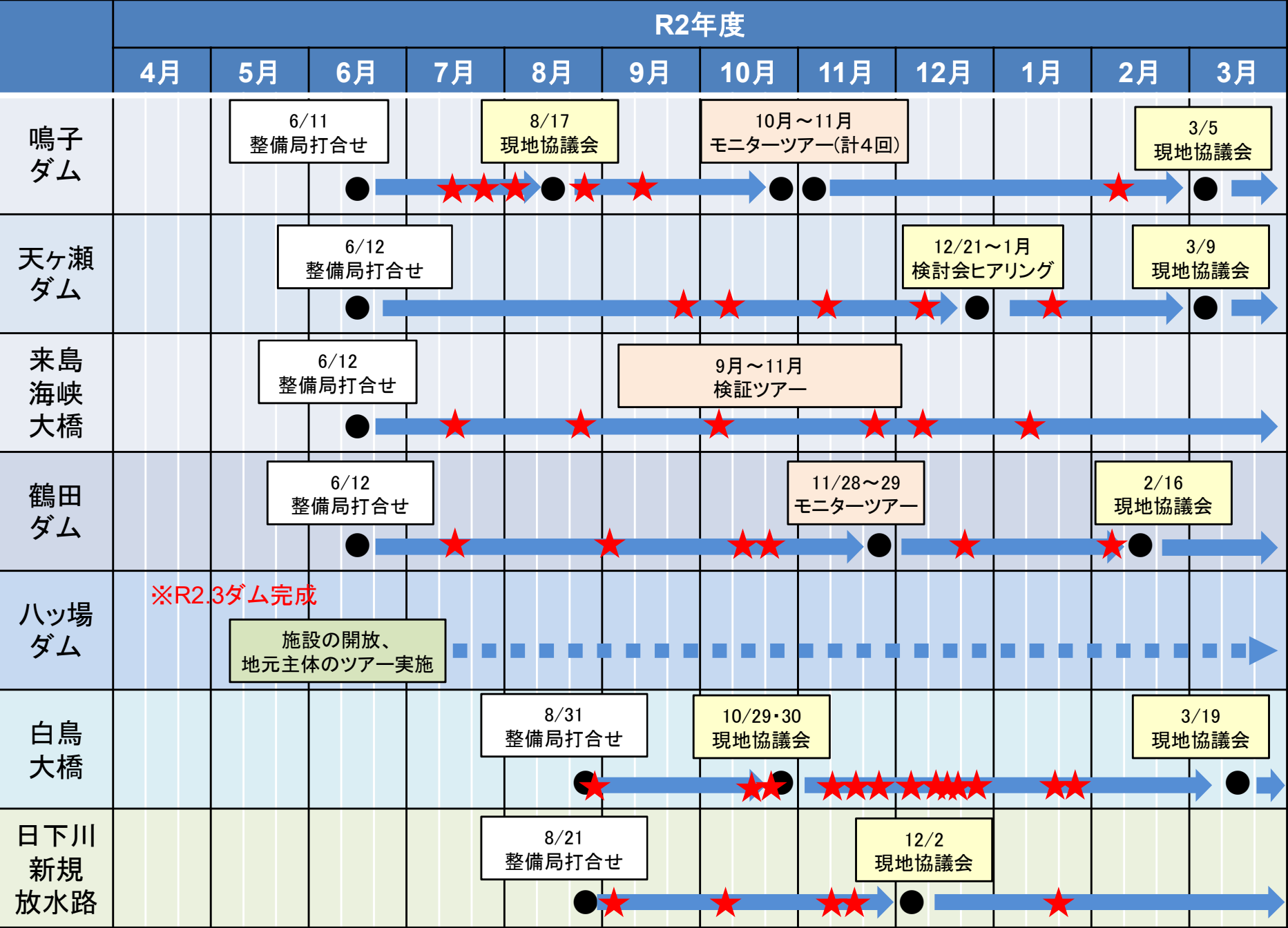
- ・【**白鳥大橋**】インフラツーリズムを核に観光を立て直したいという地元の思いや北海道開発局の努力もあり、具体化に向けた方向性が見えてきた。
- ・【**来島海峡大橋**】安全管理面や事業者の意見を踏まえた具体的な事業イメージができてきている。
- ・【**鶴田ダム**】地域の温泉地などの観光資源との連携の具体的な課題整理を実施している。
- ・【**天ヶ瀬ダム**】宇治市観光協会が主体となる方向性は確認できたが、他組織との連携が課題である。
- ・【**鳴子ダム**】ダムの職員がどれほど関わるかや、経験値や人的資源といった観光公社のキャパシティが課題となっている。
- ・【**日下川新規放水路**】周辺の観光資源との連携が弱いため、今後の戦略立案のためには、モニターツアーでの検証が必要である。

2. インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト 各モデル地区の進捗状況と今後の予定

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定

◆R2年度の各モデル地区における協議会、モニターツアー等の実施状況

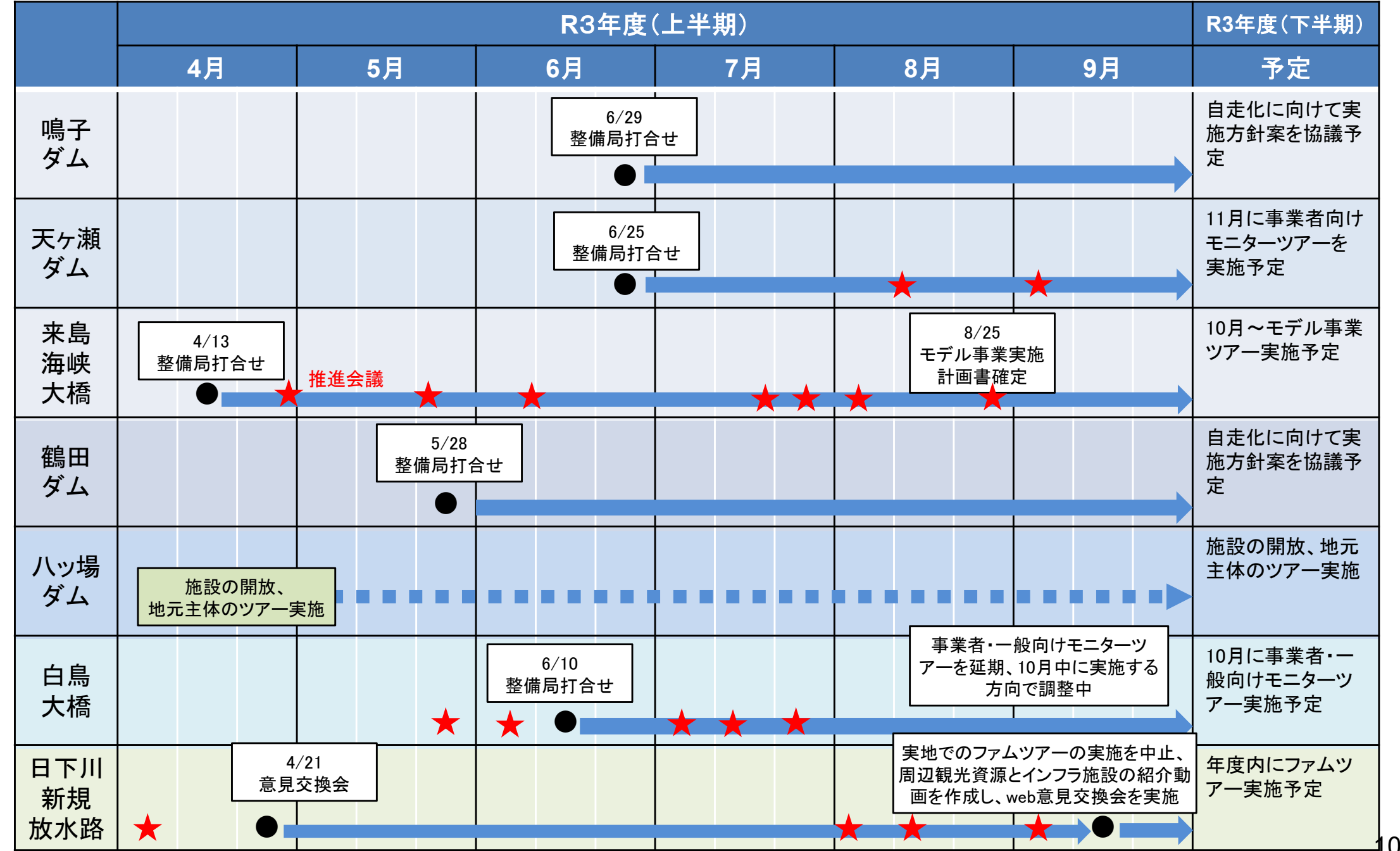
★:現地関係者打合せ等



2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定

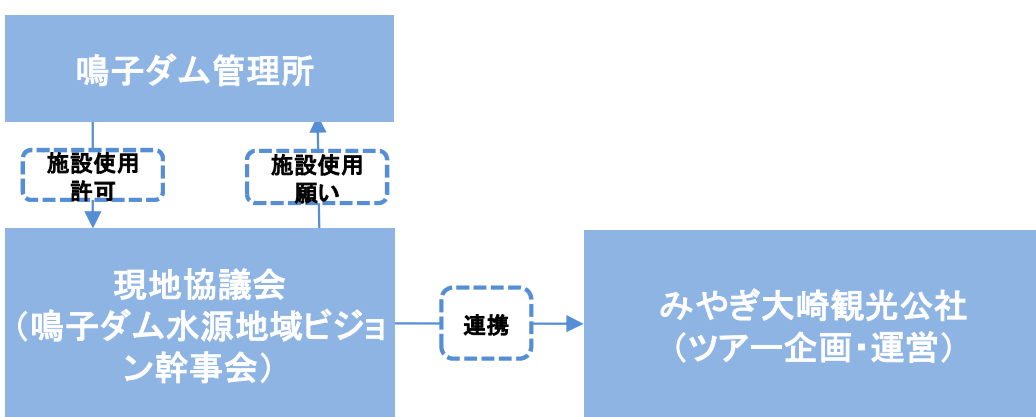
◆R3年度の各モデル地区における協議会、モニターツアー等の実施状況、予定

★:現地関係者打合せ等



2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 ―鳴子ダム①―

体制・運営スキーム(案)



モデル地域ステークホルダー

<協議会>

鳴子ダム水源地域ビジョン幹事会

大崎市、宮城県、(一社)みやぎ大崎観光公社、NPO法人鬼首山学校協議会、大崎市立鬼首小学校、鬼首地域づくり委員会、鳴子まちづくり協議会、鳴子温泉郷観光協会、(株)オニコウベ、大崎地域水管理協議会、東北電力(株)、鳴子ダム管理所

<その他関与者>

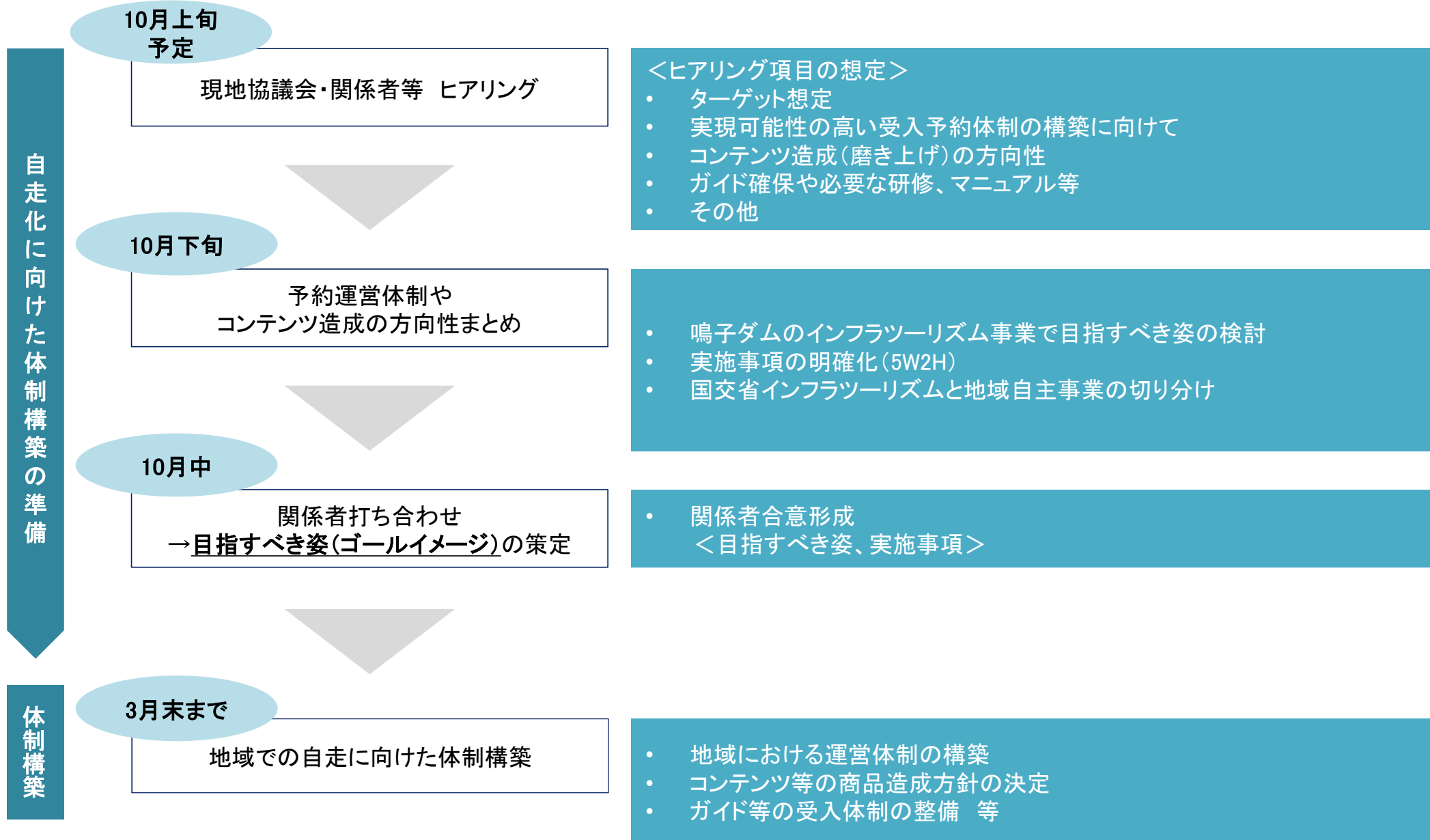
―

	R2年度				R3年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
鳴子ダム		●6/11 整備局打合せ	●8/17 現地協議会	10～11月 モニターツアー	●3/5 現地協議会	●6/29 整備局打合せ	自走化に向けて実施方針等を協議	

	これまでの取組	今後に向けた課題	今後の実施・検討項目(案)
① 運営体制の構築	みやぎ大崎観光公社を中心としたツアー運営体制の構築	- 自走可能な運営体制の構築 - 流域内事業者との連携	ボート運行の民間委託等、民間事業者の参入に向けた課題点の整理
② インフラ施設見学の深度化・地域の観光資源と連携した内容の検討	- ライトアップ等を活用したコンテンツの形成 - 地域での自走化を見据えた商品内容、販売方法の検討	- 流域内事業者との連携したインフラツーリズム商品の造成 - ターゲットに合わせたコンテンツや商品のバリエーション	- 鳴子ダムを中心とした、流域全体のストーリーの検討 - 流域内観光資源と鳴子ダムが提供する各コンテンツの前提条件の整理 - ターゲット設定(首都圏/高所得者、小・中学生向け)を踏まえたコンテンツ・商品内容の検討
③ インフラツーリズムの実践	- モニターツアー内容の検討と実施 - ガイドマニュアルの作成	ターゲットの精緻化	ターゲット設定や商品バリエーションに合わせ、プロモーション戦略の方針を検討

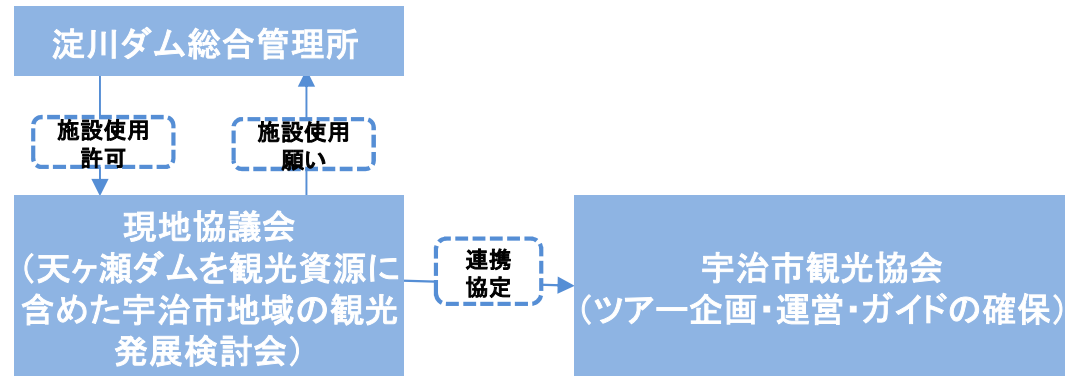
2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 ―鳴子ダム②―

◆ 今後の進め方



2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -天ヶ瀬ダム①-

体制・運営スキーム(案)



モデル地域ステークホルダー

<協議会>

天ヶ瀬ダムを観光資源に含めた宇治市地域の観光発展検討会
宇治市、宇治商工会議所、宇治市観光協会、京阪ホールディングス(株)、
(一社)お茶の京都DMO、京都府、近畿地方整備局、琵琶湖河川事務所、
淀川ダム統合管理事務所

<その他関与者>

—

R2年度

R3年度

4～6月

7～9月

10～12月

1～3月

4～6月

7～9月

10～12月

1～3月

天ヶ瀬ダム

●6/12
整備局打合せ

●12～1月
検討会ヒアリング

●3/9
現地協議会

●6/25
整備局打合せ

自走化に向けた検討
11月
モニターツアー

これまでの取組

今後に向けた課題

今後の実施・検討項目(案)

① 運営体制の構築

- 宇治市観光協会を中心としたツアー運営体制の構築

- 自走可能な運営体制の構築
- ガイド人材(質・量)の確保、派遣・育成体制の確立
- 流域内事業者との連携

- モニターツアーを通じた運営体制の構築
- ガイド人材の確保と派遣・育成体制の確立
- 旅行会社やその他事業者との連携方法の検討

② インフラ施設見学の深度化・地域の観光資源と連携した内容の検討

- 各所必要時間、受入人数、参加条件等の受入条件の確認
- 宇治市内・京都府内在住者、京都府外・近畿圏内在住者をターゲットとしたプランを設定

- 流域内事業者との連携したインフラツーリズム商品の造成
- ターゲットに合わせたコンテンツや商品のバリエーション(四季によるルート設定、女性(ダム女)をターゲットした内容設定等)
- ガイド派遣によるダム施設への立ち入りルールの設定
- ダム放流が出来ない時や雨天時の対応(発電設備・施設の見学ルート)

- ダムを中心とした流域全体のストーリーの検討
- 流域内観光資源の整理、コンテンツ化に向けた検証
- 雨天時に提供できるコンテンツや受入の方法の整備・整理
- アレンジプランの内容充実や販路の構築

③ インフラツーリズムの実践

- ターゲットを踏まえた幅広い広報方法の検討

- ターゲットの精緻化
- ガイド育成体制構築の為のツール整備

- ターゲット設定や商品バリエーションに合わせたプロモーション戦略の方針の検討
- 誘客を見据えた事業者モニターツアーの実施
- ガイドマニュアルの作成及びガイドへの周知

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -天ヶ瀬ダム②-

◆ 事業者向けモニターツアー（11月実施予定）

【行程案】

着時間	発時間	視察箇所	視察内容	備考	案内(ガイド)
11:30	11:45	JR宇治駅	改札付近集合		-
12:00	13:10	萬福寺(昼食)	昼食&ブリーフィング		-
13:10	13:30	萬福寺(視察)	境内視察		-
13:50	14:20	天ヶ瀬ダム管理事務所	施設説明		-
14:20	15:00	天ヶ瀬ダム	点検放流&キャットウォーク等特別見学		ボランティアガイド
15:00	15:30	ダム周辺	地下放水路施設・駐車場予定地等	川下り実施場所も視察	ダム管理者
15:30	17:00	天ヶ瀬ダム管理事務所	意見交換会		
17:30		JR宇治駅	解散		

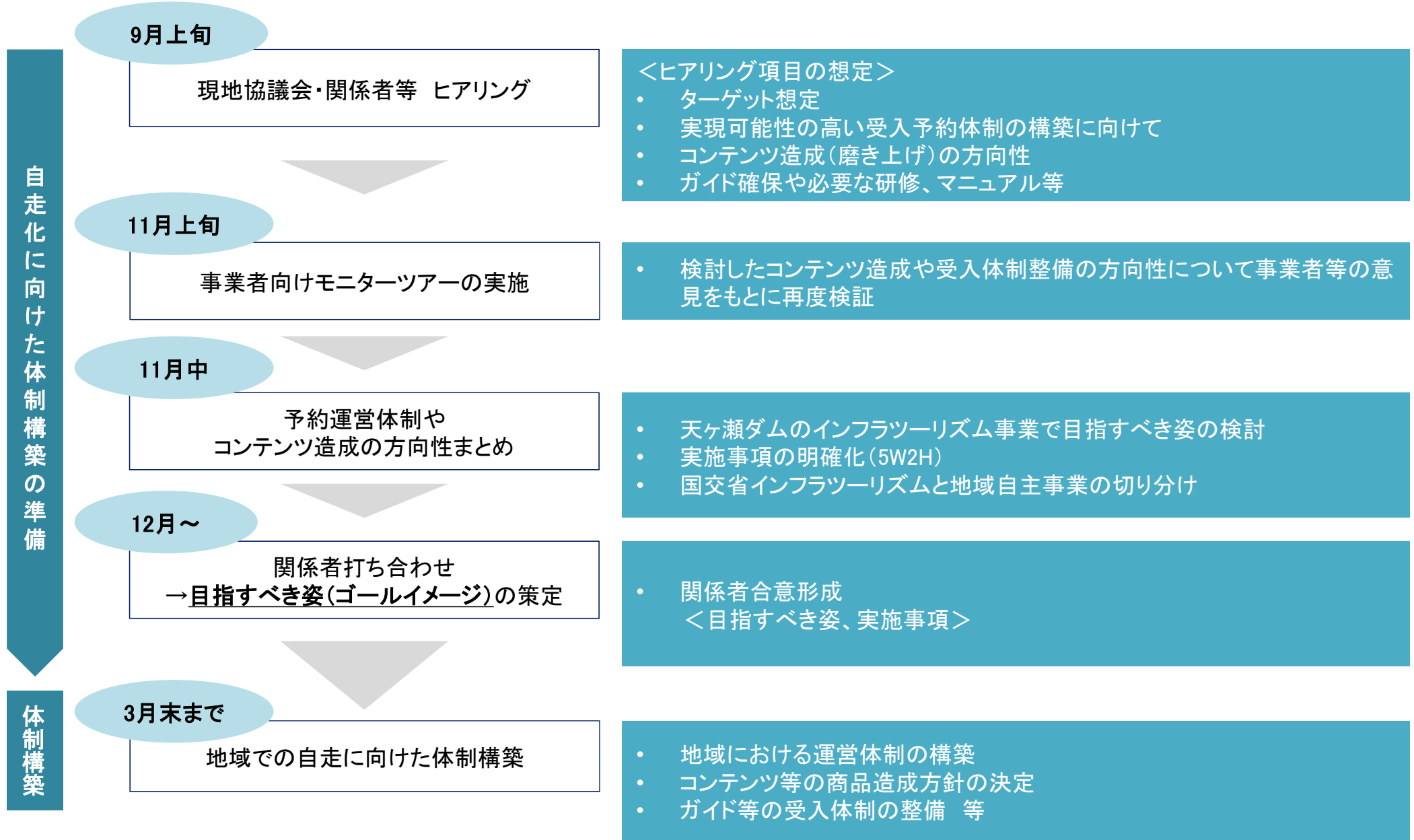
【参加者候補】

以下の分野に知見のある事業者が参加予定

- ・教育旅行、教育誘致
- ・欧米マーケット、アジアマーケット
- ・仕入・商品企画、ガイド育成
- ・個人旅行
- ・その他旅行会社、バス会社 等

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 ー天ヶ瀬ダム③ー

◆ 今後の進め方



2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -来島海峡大橋①-

体制・運営スキーム(案)

来島海峡大橋インフラ
ツーリズム推進会議

今治市
今治地方観光協会
しまなみジャパン
愛媛県
四国地方整備局

本四高速

公募選定

事業計画書提出

安全EV研修等ガイド講習

施設利用協定

民間運営事業者
インフラツーリズム
企画・運営

モデル地域ステークホルダー

<協議会>

環瀬戸内海地域交流促進協議会

四国経済連合会、中国経済連合会、兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、
香川県、愛媛県、高知県、四国運輸局、中国地方整備局、四国地方整備
局、本州四国連絡高速道路

<ワーキンググループ>

来島海峡大橋インフラツーリズム推進会議

今治市、今治地方観光協会、しまなみジャパン、愛媛県、四国地方整備
局、JB本四高速

<モデル事業実施事業者>

(株)しまなみ、(株)JTB(松山支店)

R2年度

R3年度

4～6月

7～9月

10～12月

1～3月

4～6月

7～9月

10～12月

1～3月

来島海峡大橋

●6/12
整備局打合せ

9～11月
検証ツアー

●4/13
整備局打合せ

←推進会議等開催→
モデル事業者の公募等

10月・11月
モデル事業

モデル事業検証
自走化に向けた
検討

これまでの取組

今後に向けた課題

今後の実施・検討項目(案)

① 運営体制の構築

- モデル事業実施事業者の公募、
選定

- 自走可能な運営体制の構築
- ガイド人材(質・量)の確保

- 予約・実施体制における課題の整理

② インフラ施設見学の 深度化・地域の 観光資源と連携し た内容の検討

- 周辺観光資源との連携したプラン
内容の設定(サイクリング・クルー
ズ・フォト・フォトウェディング)
- 安全確保の為に人員配置等に関
する検討

- コンテンツや商品のバリエーション

- 周辺地域、事業者の既存商品やコンテンツを活
用した新たな商品等の検討、検証

③ インフラツーリズム の実践

- ガイド研修の実施
- モデル事業実施内容の検討
(ツアー企画・販売方法等)

- ターゲットや販売経路に合わせた情報
発信手法の整備

- ターゲット設定や商品バリエーションに合わせ、
プロモーション戦略の方針を検討

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -来島海峡大橋②-

◆ モデル事業で実施するツアーの概要（10月～）

◎ 基本プラン：来島海峡大橋主塔登頂体験＋来島海峡潮流観潮

○募集人員18名

○実施予定日：期間中の指定22日

① ようみいきいき館～馬島→【来島海峡大橋8P主塔塔頂】→ 馬島 ～～～～～～ ようみいきいき館
9:00 9:10 〈9:10-10:40〉 10:50 【急流観潮】 11:20

② ようみいきいき館 ～～～～ 馬島 →【来島海峡大橋8P主塔塔頂】→ 馬島 ～～～ ようみいきいき館
10:30 【急流観潮】 11:00 〈11:00-12:30〉 12:30 12:40

③ ようみいきいき館 ～～～～ 馬島 →【来島海峡大橋8P主塔塔頂】→ 馬島 ～～～ ようみいきいき館
12:40 【急流観潮】 13:10 〈13:10-14:40〉 14:50 15:50
※フォト婚プラン（6日間）を除く

④ ようみいきいき館 ～～～～ 馬島 →【来島海峡大橋8P主塔塔頂】→ 馬島 ～～～ ようみいきいき館
14:30 【急流観潮】 15:00 〈15:00-16:30〉 16:30 16:50
※サイクリングプラン（3日間）除く



ビルの52階に相当する主塔に登頂



桁外作業車に乗って空中散歩を体験



亀老山展望台からの眺望

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -来島海峡大橋③-

◆ モデル事業で実施するツアーの概要（10月～）

◎フォト婚プラン：来島海峡大橋主塔登頂体験＋来島海峡観潮チャータークルーズ

宿泊付き

○募集人員 2 名

○実施予定日：期間中の指定 6 日

今治国際ホテル(打合せ・ヘアセット・メイク・衣装着替え)

10:30

12:30

→今治港～（貸切船）～馬島→来島海峡大橋8P主塔塔頂→馬島（貸切船）～今治港 → 今治国際ホテル

12:40

13:10

14:40

15:10

15:30



今治港まではハイヤーで送迎
今治港からはチャーター船で
8Pのある馬島へ
〈写真はイメージ〉



主塔からの素晴らしい眺望
スタッフやガイド、アテン
6名以上での安全管理による
安心な塔頂となります



主塔からの素晴らしい眺望



今治国際ホテル 公式ホームページより
https://www.imabari-kokusai-hotel.co.jp/common/img/pic_footer.jpg

所要時間 約5時間 10:30～15:30
貸切販売 対応可能人員:2名
タキシード、ドレス スタダードプラン5着から
選択
オプション代金により衣装選択可能
ヘアセット、メイク、衣装着付と橋上まで同行
ホテルから今治港まで送迎付
今治港から馬島までチャーター船での送迎付き
撮影クルー同行 主塔では3カット、橋脚で1カット
その他1カット 合計5カットを
2面台紙付き 1冊 5ポーズデザインへ データ50
カット付き
当日の宿泊 今治国際ホテルツイン1泊朝食付き
雨・風など荒天時は中止し、代案日へ日程変更
代案日は翌日のみです。
予定日、翌日の2日間が荒天時の場合は
今治国際ホテルでの撮影とさせていただきます。
中止の判断は催行会社が行います。
曇天日は催行致します。お客様の判断での中止は返
金不可です。

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -来島海峡大橋④-

◆ モデル事業で実施するツアーの概要（10月～）

◎ 桁外作業車プラン：来島海峡大橋主塔登頂＋桁外面作業車体験＋バーベキュー＋来島海峡観潮

○募集人員16名

○実施予定日：期間中の指定3日

① ようみいきいき館～(船)～馬島→来島海峡大橋8P主塔塔頂&桁外面作業車体験→馬島～(船)～ようみいきいき館
9:20 9:40 11:40 急流観潮 12:30バーベキュー 13:30

② ようみいきいき館～(船)～馬島→来島海峡大橋8P主塔塔頂&桁外面作業車体験→馬島～(船)～ようみいきいき館
11:00 バーベキュー 12:00 12:20 14:20 急流観潮 15:10

③ ようみいきいき館～(船)～いきいき館～(船)～馬島→来島海峡大橋8P主塔塔頂&桁外面作業車体験→馬島～(船)～いきいき館
12:20 急流観潮 13:10 バーベキュー14:20 14:40 16:40 17:00



チャーター船で8Pのある馬島へ



8Pの内部へ保守通路からEVへ



主塔からの素晴らしい眺望



桁外面作業車へ 珍しい景色



ようみいきいき館で海鮮+肉のバーベキュー

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -来島海峡大橋⑤-

◎サイクリングプラン：来島海峡大橋主塔登頂体験＋サイクリング(E-バイク)＋バーベキュー＋亀老山展望台ヒルクライムと夕刻

○募集人員 10名

○実施予定日：期間中の指定3日

ようみいきいき館	→→→→→	亀老山展望台	→→→→→	来島海峡大橋8P主塔塔頂	→→→→→	ようみいきいき館				
11:50	バーベキュー	12:50	サイクリング	13:30	14:10	サイクリング	15:00	16:30	サイクリング	17:00



ようみいきいき館で海鮮
＋肉のバーベキュー



とれたての旬のお魚の
活け造りも



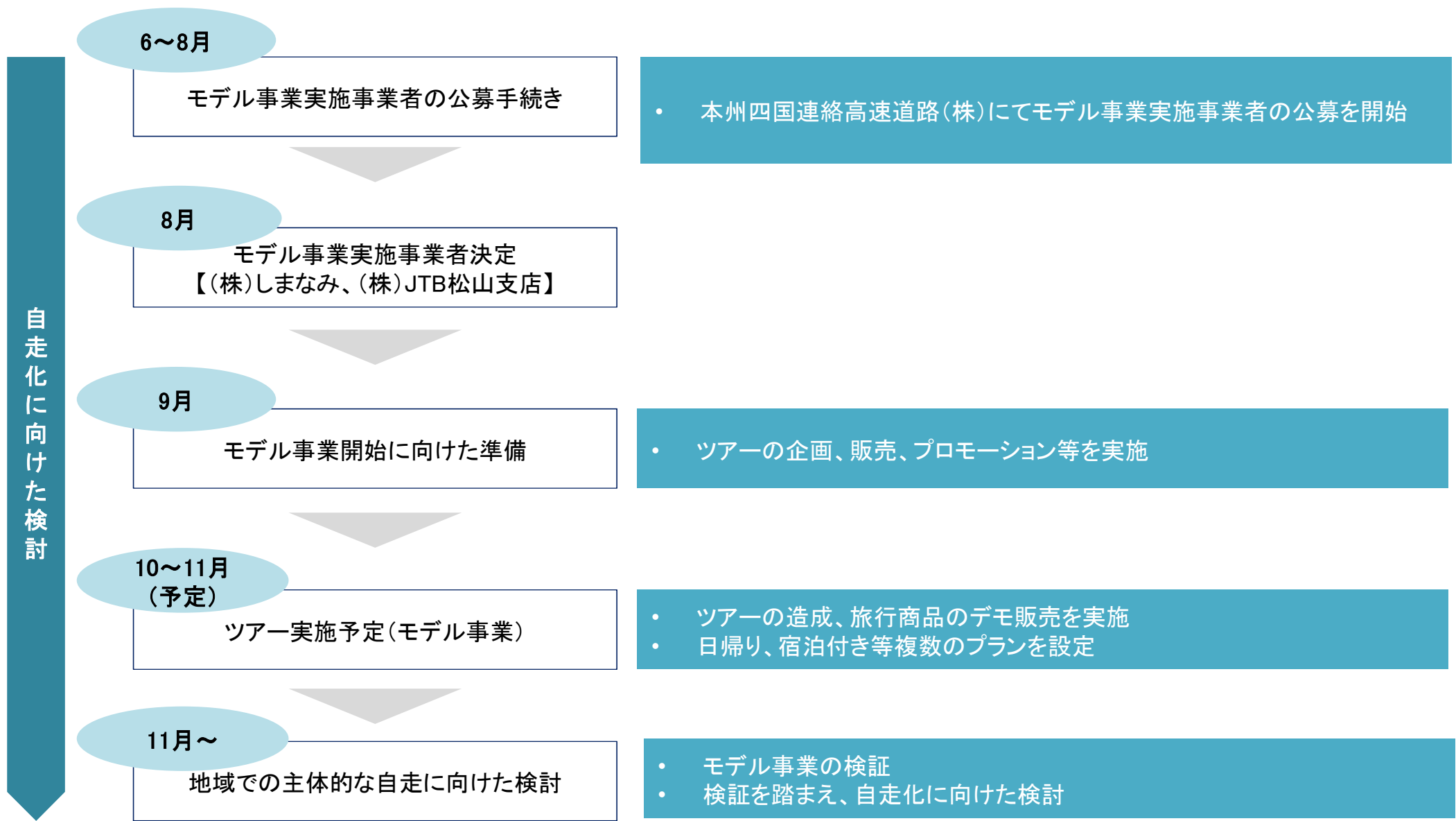
亀老山展望台までのヒルクライムも
E-バイクなのでらくらく走行



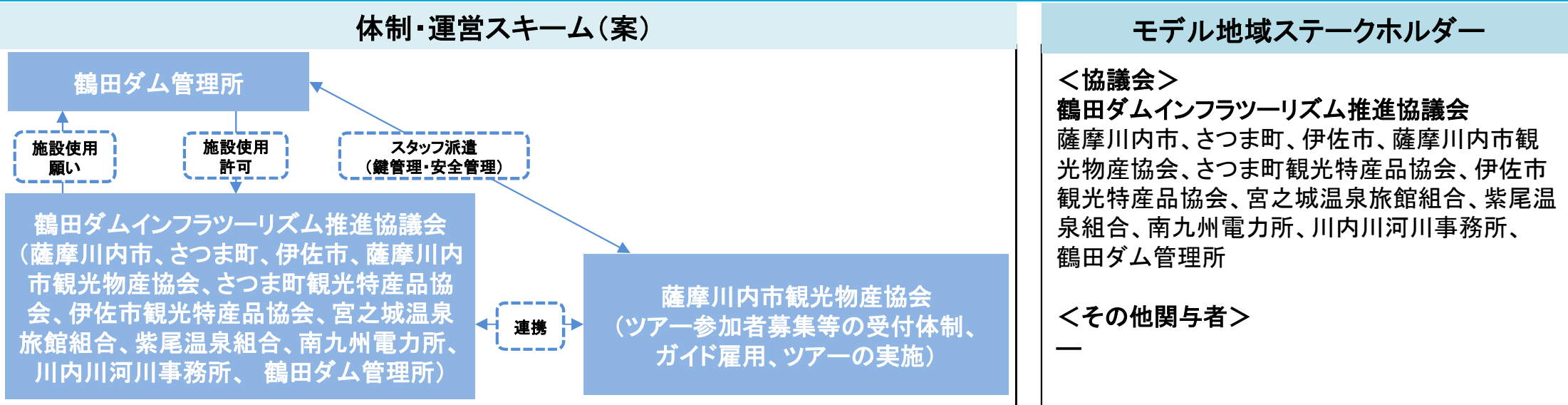
展望台から来島海峡や
しまなみ海道の海と島、
今治市街地も眺望でき、
感動の景色とともに記念写真

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -来島海峡大橋⑥-

◆ 令和3年度 今後の進め方



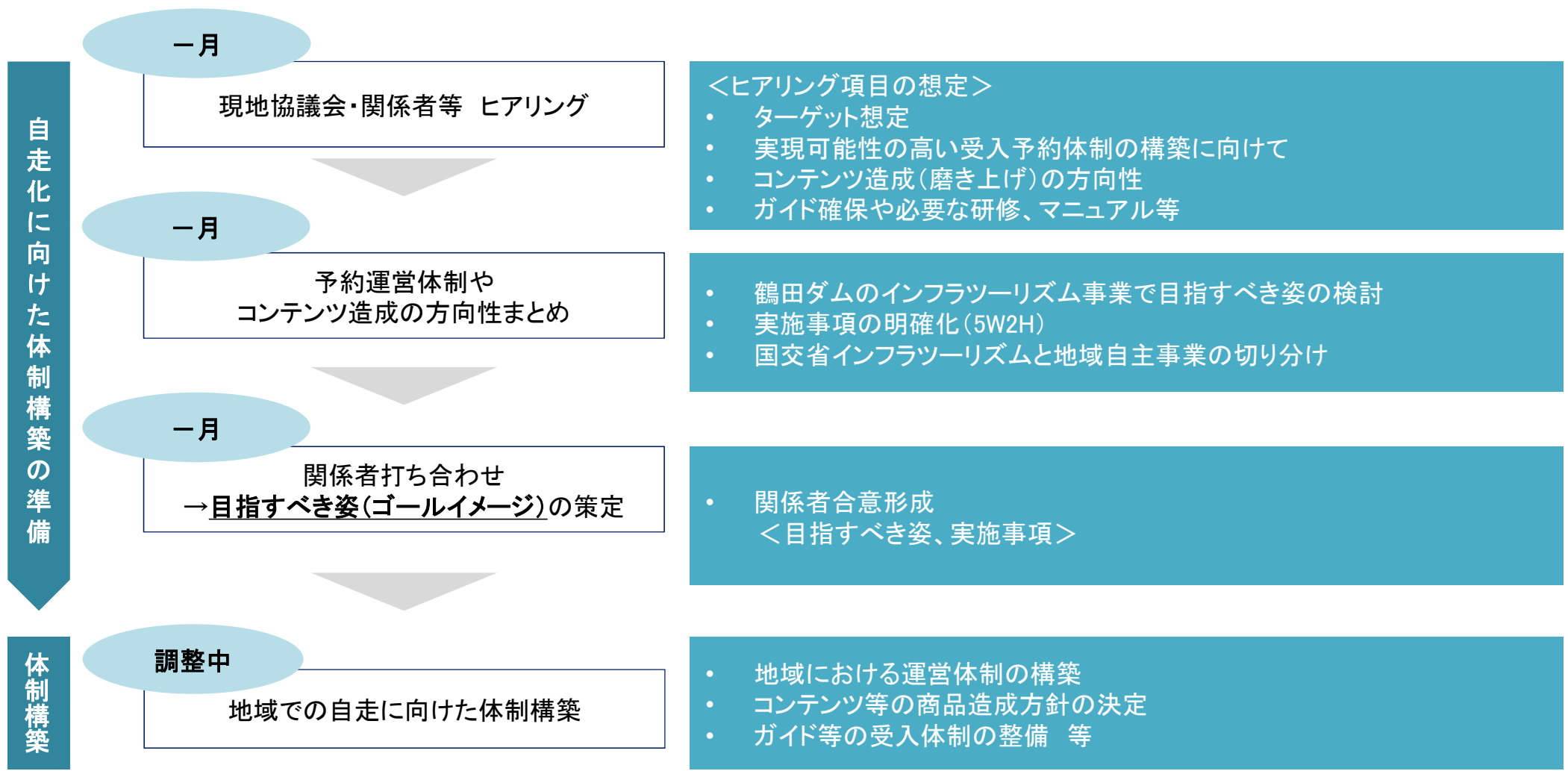
2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -鶴田ダム①-



	R2年度				R3年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
鶴田ダム		●6/12 整備局打合せ	11月 モニターツアー	●2/16 現地協議会	●5/28 整備局打合せ	自走化に向けた検討 ■令和3年7月豪雨		
	これまでの取組			今後に向けた課題		今後の実施・検討項目(案)		
① 運営体制の構築	・ 薩摩川内市観光物産協会を中心としたツアー実施体制の構築 ・ 地域協議会等、地域での検討体制の構築			・ 自走可能な運営体制の構築 ・ ガイド人材(質・量)の確保、派遣・育成体制の確立		・ ガイド人材の確保並びに派遣・育成体制の確立		
② インフラ施設見学の深度化・地域の観光資源と連携した内容の検討	・ 団体向け・個人向けツアー内容に関する検討			・ ターゲットに合わせたコンテンツや商品のバリエーション		・ 薩摩川内市観光物産協会を中心とした、旅行商品の造成・販売の検討 ・ 事業者や各市町村を巻き込んだ、広域連携の検討		
③ インフラツーリズムの実践	・ モニターツアーの内容の検討と実施			・ ターゲットの精緻化 ・ ターゲットや販売経路に合わせた情報発信手法の整備		・ ターゲット設定や商品バリエーションに合わせた、プロモーション戦略の方針を検討 ・ 鶴田ダムを組み込んだ旅行商品の企画・販売・オペレーション		

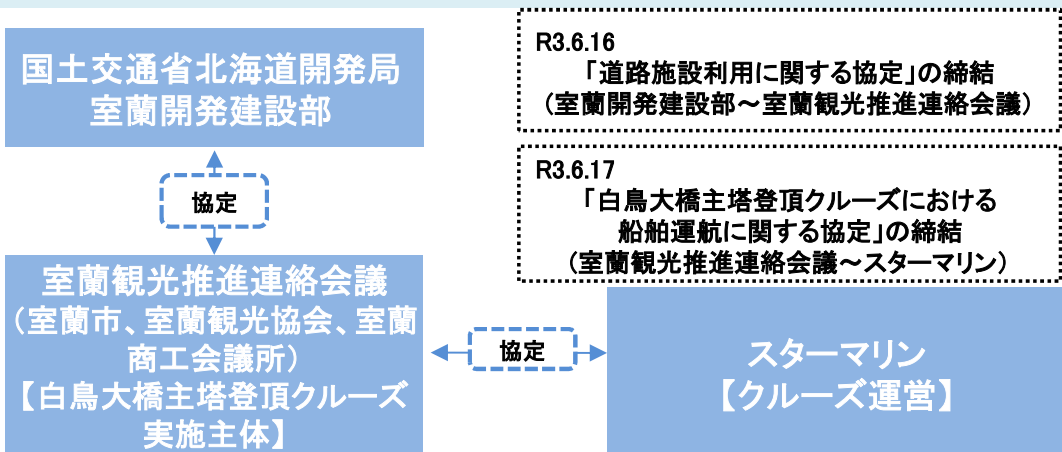
2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 ー鶴田ダム②ー

◆ 今後の進め方



2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -白鳥大橋①-

体制・運営スキーム



モデル地域ステークホルダー

＜協議会＞
白鳥大橋インフラツーリズム魅力増進プロジェクト現地協議会
室蘭観光推進連絡会議(室蘭市、室蘭観光協会、室蘭商工会議所)、ワーキンググループメンバー、アドバイザー(篠原靖委員)、北海道開発局

＜ワーキンググループ＞
白鳥大橋インフラツーリズム魅力増進プロジェクト現地協議会 WG
室蘭観光推進連絡会議、スターマリン(株)、Li World(株)(広告コンサルタント会社)、宿泊事業者

＜その他関与者＞
(株)栗林トラベル・サポート

	R2年度				R3年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
白鳥大橋		●8/31 整備局打合せ	●10/30・31 現地協議会	●3/19 現地協議会	●6/10 整備局打合せ	●7/22 「主塔登頂クルーズ」開始	10月～ モニターツアー	ツアー等の商品化 に向けた検討

	これまでの取組	今後に向けた課題	今後の実施・検討項目(案)
① 運営体制の構築	「道路施設利用に関する協定」等の締結(R3.6) - 白鳥大橋主塔登頂クルーズの販路、商品形態等の整理と検討 - 民間クルーズとしての自走化	- ガイド手配など、スムーズな運営体制の検討 - 販路・商品形態の拡大へ向けた、販売体制の構築	- 予約・実施体制における課題の整理 - ガイドのスケジュール確認などの効率化
② インフラ施設見学の深度化・地域の観光資源と連携した内容の検討	- 白鳥大橋主塔登頂クルーズを軸とした、多様な見学・活用方法の検討 - 交通事業者・宿泊事業者と連携した販売体制に関する検討	- 周辺地域の観光資源と連携したインフラツーリズム商品の造成 - 販売・商品化に向けた課題点の発掘 - ターゲットに合わせたコンテンツや商品のバリエーション	- 白鳥大橋主塔登頂クルーズを活用した、多様な商品内容の検討 - 連携する地域資源やストーリーの検討 - アレンジプランの内容充実や販路の構築
③ インフラツーリズムの実践	- ガイドマニュアルの作成、ガイド研修の実施 - 一般向け/事業者向けモニターツアー内容の検討と実施へ向けた準備	- ターゲットの精緻化 - 築島船着場の維持管理	- ターゲット設定や商品バリエーションに合わせたプロモーション戦略の検討 - 交通事業者・宿泊事業者との連携体制の構築を見据えた、モニターツアーの実施 - 築島の浮き桟橋の改善

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -白鳥大橋②-

◆ 白鳥大橋主塔登頂クルーズ ※緊急事態宣言中は運行中止

R3年度7月22日(木)～スターマリン(株)による白鳥大橋主塔登頂クルーズの運行が開始

スターマリン(株)サイト

港を一望 プレミアムな景観美

東日本最大の吊り橋・白鳥大橋の主塔に登り、高さ100mの地点から港を一望できるプレミアムなクルーズがスタートします。ダムや橋などの公共施設を見学するインフラツーリズムが全国的に人気を集める中、宝蔵ならではの体験が気軽に楽しめます。

インフラツーリズムとは？

インフラツーリズムは、普段立ち入れない橋やダムなどの公共施設(インフラ)で、景観を楽しみ、施設の仕組みや歴史などが学べる新しい観光ツアーです。

[インフラツーリズム 公式ホームページ](#)



多彩な表情を見せる白鳥大橋

「秋のまち宝蔵」のシンボル・白鳥大橋は、1998年に完成し、全長1,380m、2基の主塔の高さは140m。日中はダイナミックな構造物の景観、日没後はライトアップとイルミネーションが風力発電で点灯するなど、多彩な表情を見せます。



<http://www.muro-nc.com/hakuchoclimb.html>

○航路・料金

コース	料金	所要時間
標準コース 白鳥大橋主塔登頂＋港内クルーズ (ハーフ)	大人5,000円 小人2,500円	約120分

大人：中学生以上、小人：小学4年～6年生
※小学3年生以下は参加不可

※最少催行人数5名 運行日までに最少催行人数に達しない場合、運行を中止。
※来シーズンより、催行確定料金(割り増し)を設定予定。

5名以上の団体で乗船される方はカスタマイズ可能

コース	料金	所要時間
白鳥大橋主塔登頂のみ	大人4,000円 小人2,000円	約70分
白鳥大橋主塔登頂＋港内クルーズ (フル)	大人6,000円 小人3,000円	約140分

◆ 登頂カード(白鳥大橋主塔登頂クルーズ参加者へ配布) リピーターを増やす目的で、毎月デザインを変更

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -白鳥大橋③-

◆ 一般向けモニターツアー

緊急事態宣言により延期になった一般向けモニターツアーについて、10月中の実施で調整。

白鳥大橋主塔登頂クルーズ&アンカレイジ見学(説明付き)と ボルタ工房『白鳥大橋と工場風景』模型製作体験

■ご出発日/ 2021年10月17日(日)
■モニター旅行代金/ 大人お一人様 8,000円
(小人お一人様 5,500円※)
※小人料金対象: 小学4年~6年生 (小学3年生以下はご参加いただけません)

■バス乗降場所・出発時刻ご案内
JR東室蘭駅東口 10時00分

■旅程		行程	●入場観光 ●下車観光	食事
JR東室蘭駅東口(10:00) == (白鳥大橋経由) == 道の駅みたら室蘭(10:30頃)		(白鳥大橋主塔登頂クルーズの定員が12名のため、これより2班に分かれて行動)		
* <A班>: 定員12名		みたら室蘭(10:30頃) ... 乗下船場(みたら室蘭横) ... 乗下船場(みたら室蘭横)		朝
... みたら室蘭(昼食: くらやみ) == ●ボルタ工房(製作体験/約40分) == みたら室蘭(白鳥大橋記念館見学・お買物) [約40分] (16:00頃)				昼
* <B班>: 定員12名		みたら室蘭(10:30頃) == ●ボルタ工房(製作体験/約40分) == みたら室蘭(昼食: くらやみ) ... 乗下船場(みたら室蘭横) ...		夕
●白鳥大橋主塔登頂+室蘭港内クルーズ [約120分] ... 乗下船場(みたら室蘭横) ... みたら室蘭(白鳥大橋記念館見学・お買物) [約40分] (16:00頃)				
<A班・B班合流>		みたら室蘭(16:00頃) == ●アンカレイジ見学 [約40分] == JR東室蘭駅東口(17:10頃着)		
【白鳥大橋主塔登頂+室蘭港内クルーズ欠航時の行程】		※気象・海象状況により欠航となる場合がございます。別紙注意事項をご確認ください		
JR東室蘭駅東口(10:00) == (白鳥大橋経由) == ●ボルタ工房(製作体験/約40分) == みたら室蘭(昼食: くらやみ) ...		※モニターツアーのため、欠航時には白鳥大橋主塔登頂クルーズの乗船券をお渡しいたします。各自で期日までにご利用いただくことがご参加条件となります。		
白鳥大橋記念館見学・お買物 約40分 == ●アンカレイジ見学 [約40分] == JR東室蘭駅東口(14:10頃着)				

※記号について 船船(スターマリン) ... バス ... 徒歩 ...

※現地見学の都合や交通事情等により、行程が変更となる場合がございます。

■旅行代金に含まれるもの/ 旅程表記載の移動費用及び有料施設入場料・食事代(昼食1回) ■利用バス会社/ 道南バス(株) ■クルーズ運航会社/ スターマリン(株) ■最少催行人数/ 15名様 ■乗車人員/ 24名様 ■添乗員/ 同行いたします



アンカレイジ

吊り橋のメインケーブルを固定(定着)させる為の巨大なコンクリートブロック

★昼食メニュー

みたら室蘭1層 くらやみ
室蘭カレーラーメン(ハーフサイズ)
ミニ室蘭やきとり丼

白鳥大橋主塔登頂クルーズ&アンカレイジ見学(説明付き)と むろらん街歩き

■ご出発日/ 2021年10月16日(土)
■モニター旅行代金/ 大人お一人様 8,000円
(小人お一人様 5,500円※)
※小人料金対象: 小学4年~6年生 (小学3年生以下はご参加いただけません)

■バス乗降場所・出発時刻ご案内
JR東室蘭駅東口 10時00分

■旅程		行程	●入場観光 ●下車観光	食事
JR東室蘭駅東口(10:00) == 旧室蘭駅 ... 専門ガイドがご案内 ●室蘭の古い町並み散策(旧室蘭駅・北炭倶楽部・旧三養合資会社室蘭出張所・旧室蘭・日本一の坂など) [約75分] == みたら室蘭(11:40頃)		(昼食: くらやみ/ 白鳥大橋記念館見学) [約70分]		朝
* <A班>: 定員12名		みたら室蘭(12:50頃) ... 乗下船場(みたら室蘭横) ... ●白鳥大橋主塔登頂+室蘭港内クルーズ [約120分] ... 乗下船場(みたら室蘭横)		昼
... みたら室蘭 == ●アンカレイジ見学 [約40分] == ●地球岬展望台 [約20分] == みたら室蘭(17:10頃)				夕
* <B班>: 定員12名		みたら室蘭(12:50頃) == ●地球岬展望台 [約20分] == ●アンカレイジ見学 [約40分] == みたら室蘭 ... 乗下船場(みたら室蘭横) ...		夕
●白鳥大橋主塔登頂+室蘭港内クルーズ [約120分] ... 乗下船場(みたら室蘭横) ... みたら室蘭(17:10頃)				
<A班・B班合流> みたら室蘭(17:10頃) == 室蘭駅前バス停 == JR東室蘭駅東口(17:40頃着)				
【白鳥大橋主塔登頂+室蘭港内クルーズ欠航時の行程】		※気象・海象状況により欠航となる場合がございます。別紙注意事項をご確認ください		
JR東室蘭駅東口(10:00) == 旧室蘭駅 ... 専門ガイドがご案内 ●室蘭の古い町並み散策(旧室蘭駅・北炭倶楽部・旧三養合資会社室蘭出張所・旧室蘭・日本一の坂など) [約75分] == みたら室蘭(昼食: くらやみ/ 白鳥大橋記念館見学) [約70分] ==		※モニターツアーのため、欠航時には白鳥大橋主塔登頂クルーズの乗船券をお渡しいたします。各自で期日までにご利用いただくことがご参加条件となります。		
●地球岬展望台 [約20分] == ●アンカレイジ見学 [約40分] == JR東室蘭駅東口(15:00頃着)				

※記号について 船船(スターマリン) ... バス ... 徒歩 ...

※現地見学の都合や交通事情等により、行程が変更となる場合がございます。

■旅行代金に含まれるもの/ 旅程表記載の移動費用及び有料施設入場料・食事代(昼食1回) ■利用バス会社/ 道南バス(株) ■クルーズ運航会社/ スターマリン(株) ■最少催行人数/ 15名様 ■乗車人員/ 24名様 ■添乗員/ 同行いたします

■ナイトクルーズ [ご旅行代金] 大人4,000円(小人2,500円) 最少催行人数/ 10名
行程: 17:15までにスターマリン道の駅みたら室蘭営業所に各自お集りください。 ... 乗下船場(みたら室蘭横) ...
●ナイトクルージング [約60分] ... 乗下船場(みたら室蘭横) ... みたら室蘭 == JR東室蘭駅東口(19:10頃着)
■宿泊ホテルプラン/ ホテルトルティン東室蘭駅前 [宿泊料金] 1泊朝食付 お一人様 シングル7,400円 ツイン6,500円



アンカレイジ

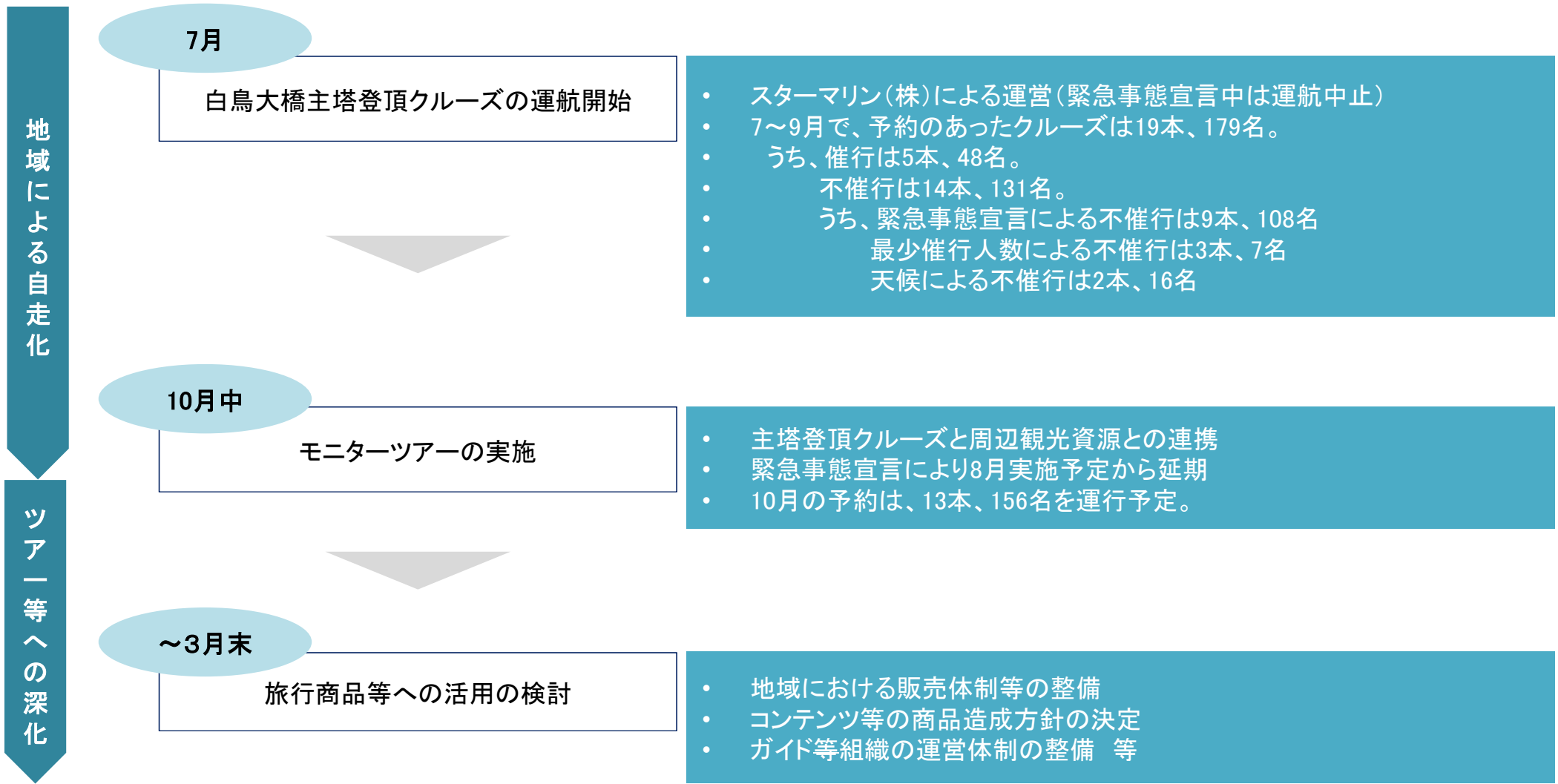
吊り橋のメインケーブルを固定(定着)させる為の巨大なコンクリートブロック

★昼食メニュー

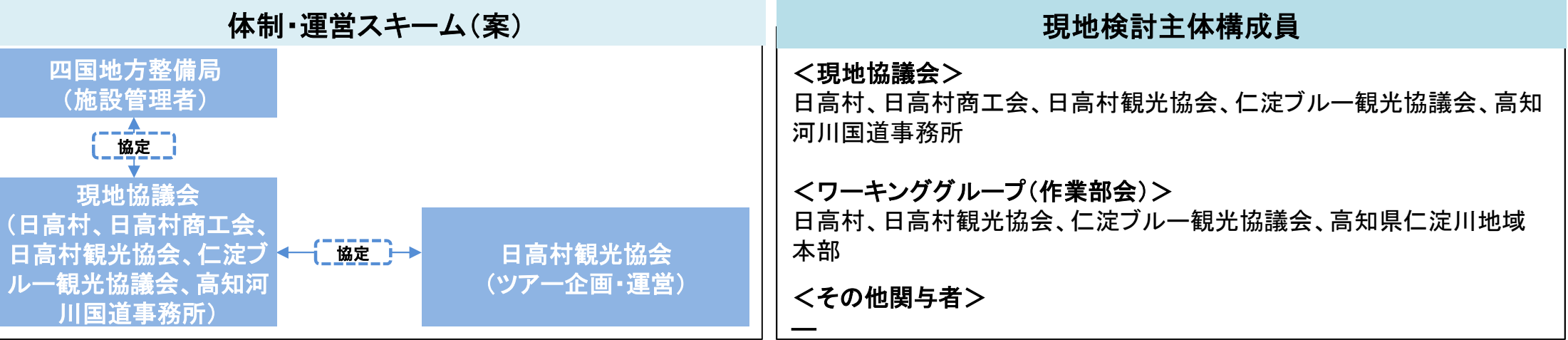
みたら室蘭1層 くらやみ
室蘭カレーラーメン(ハーフサイズ)
ミニ室蘭やきとり丼

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -白鳥大橋④-

◆ R3年度の取組と今後の進め方



2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -日下川新規放水路①-



2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -日下川新規放水路②-

◆ WEB意見交換会(ファムツアーの代案として実施)

・実施予定であったファムツアー行程のインフラ施設、その他周辺観光資源に関する紹介動画を作成し、招聘者に事前送付、視聴した上でオンラインにて意見交換会を行った。

<次第>

日時:2021年9月14日(火)13:00-15:00

場所:web開催

1. 冒頭あいさつ : 日高村村長 戸梶 眞幸氏
2. 参加者紹介
3. 意見交換会主旨説明 : JTB
4. 意見交換



Web意見交換会

(ア)所感の共有 :各招請者 3分程度

(イ)日下川新規放水路等のインフラ施設を活用した着地商品の方向性について

(ウ)日高村及び日下川新規放水路流域として今後売り出すべきターゲット

(エ)今後、必要な受入体制整備

5. モデル地区有識者からのコメント :JTB総合研究所 河野 まゆ子氏
6. その他

<参加者> ※敬称略

■招聘者

- ・高知ファイティングドッグス球団株式会社 副社長 北古味 潤
- ・(株)宮地観光サービス ツーリズムコーディネーター 近澤 真弓
- ・登録DMO 一般社団法人 そらの郷 事務局次長 出尾 宏二
- ・Knowledge Travel Partners 代表 ロッド・ウォルターズ

■モデル地区有識者

河野 まゆ子

■日高村 ■日高村観光協会

■日高村商工会

■仁淀ブルー観光協議会

■高知県仁淀川地域本部

■四国地方整備局

■高知河川国道事務所

2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -日下川新規放水路③-

◆ WEB意見交換会で使用した「紹介動画」の概要

<紹介動画撮影の方向性・主旨>

●各紹介動画において地域コンセプト(巨大な水のトンネルは、未来へのトビラ。)に留意した説明を行う。

→(各観光地)日下川新規放水路等インフラ施設とどのような関連性や連続性を持っているか(治水の歴史等)、もし持っていない場合にはインフラツーリズムとして周遊する際にはどのような位置づけになりえるかを説明する。

→(インフラ施設)インフラ施設が地域に対してどのような役割を担っているか、なぜ大切なのかを説明する。

<紹介動画作成箇所>※撮影時間合計61分

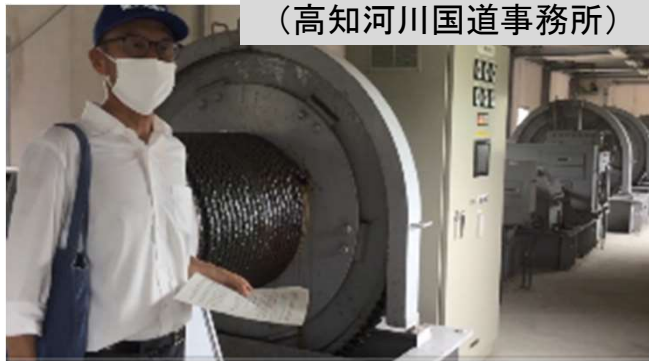
●インフラ施設

仁淀川西岸→八田堰→吐口出工事現場周遊、神母樋門(いげひもん)、既設放水路、新規放水路

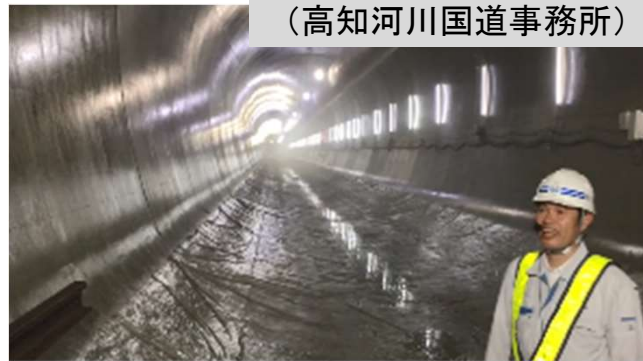
●その他

日高村全体説明、小村神社、かんぽの宿伊野、屋形船仁淀川、ミライエ、霧山茶園、猿田洞、レストラン高知、湿地帯散策(メダカ池フットパス)、日高酒蔵ホール

- 神母樋門(操作室) -
(高知河川国道事務所)



- 新規放水路(本坑) -
(高知河川国道事務所)

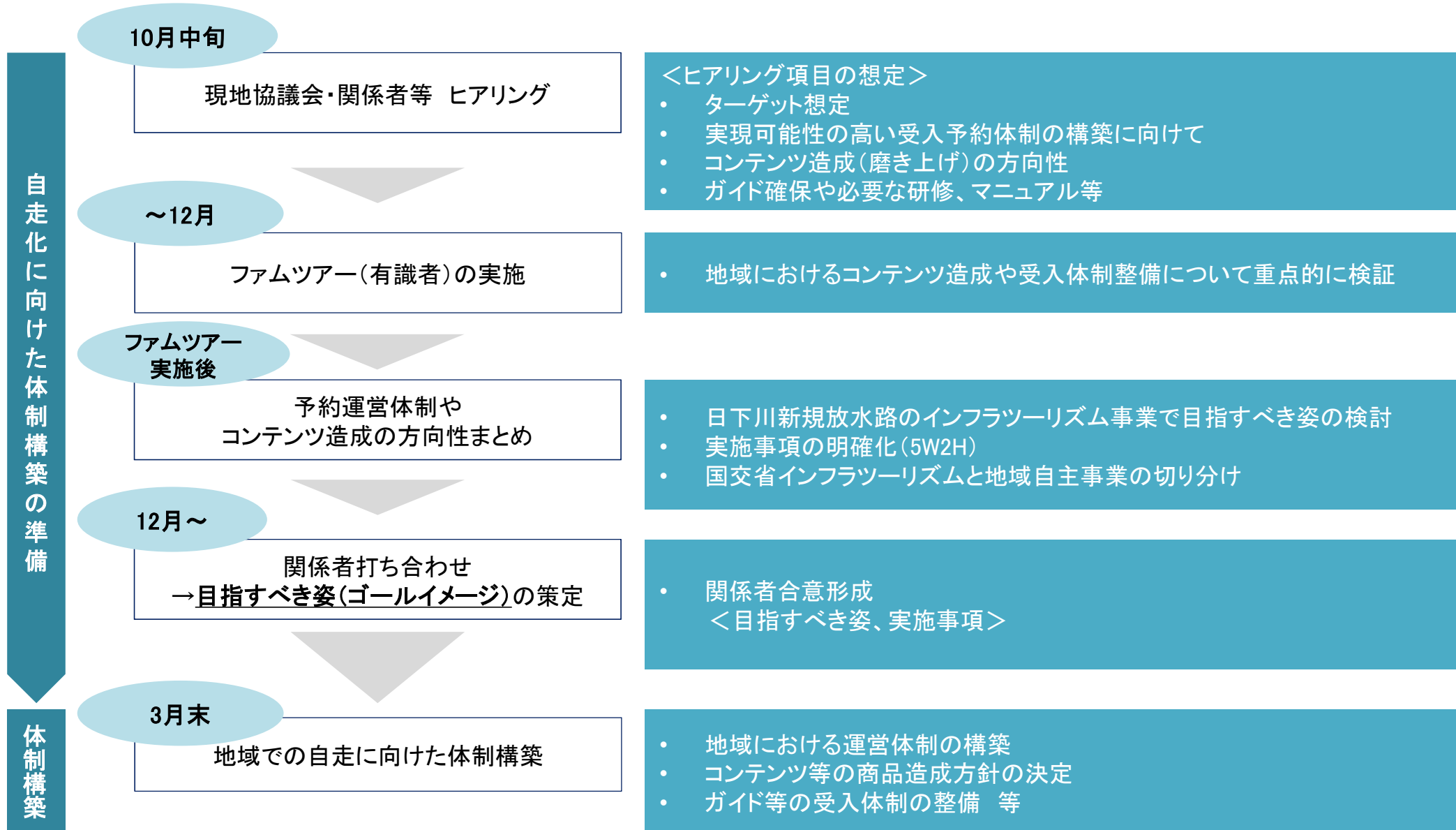


- 猿田洞 -
(日高村観光協会)



2. 各モデル地区の進捗状況と今後の予定 -日下川新規放水路④-

◆ 今後の進め方



2. 各モデル地区の進捗報告 -ハッ場ダム①-

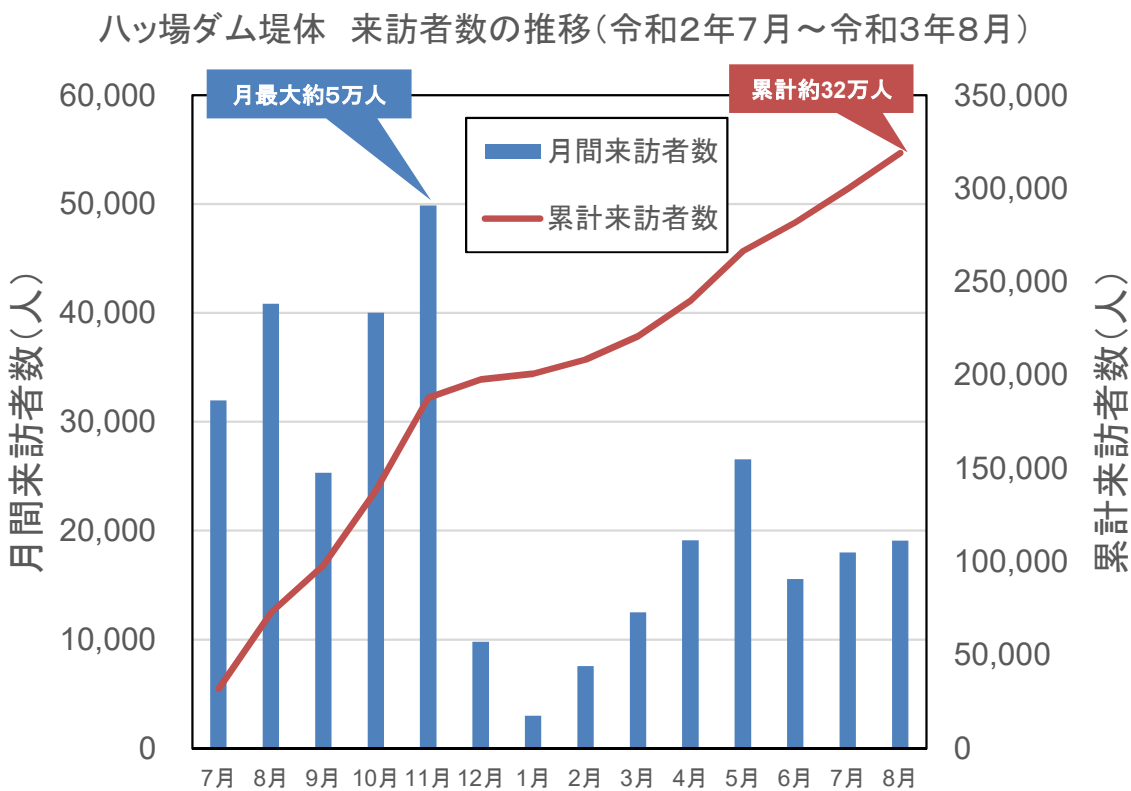
【参考】堤体来訪者の状況等

ハッ場ダムの堤体付近及びダム湖周辺地域では、既存の観光資源や新たに整備した地域振興施設の更なる利活用が求められており、『ハッ場ダム水源地域ビジョン』により、吾妻溪谷や浅間山が育む豊かな自然環境の恵み、魅力ある地域の観光資源、地場産業、ハッ場ダム周辺の様々な施設等を、ダム上下流地域の連携によって総合的に活用し、ハッ場地域全体の自立的・持続的な発展を推進しています。

今後も、管理棟やダム堤体等を活用した取り組みを実施していきます。

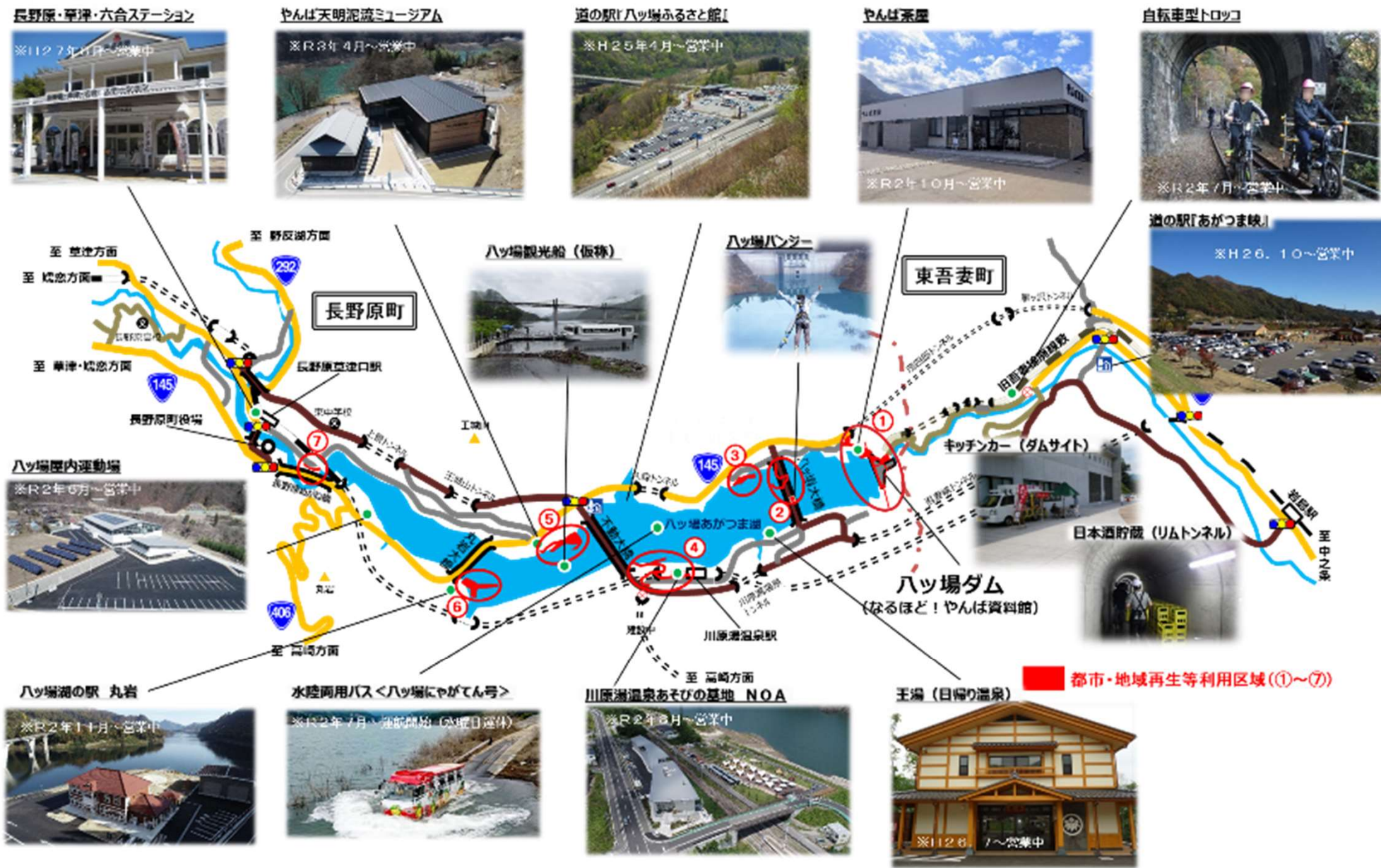
ハッ場ダム 堤体来訪者数(令和2年7月～令和3年8月)

令和2年7月から一般開放しているハッ場ダム堤体には連日、多くの観光客が訪れており、令和3年8月時点で累計約32万人の方が来訪しました。



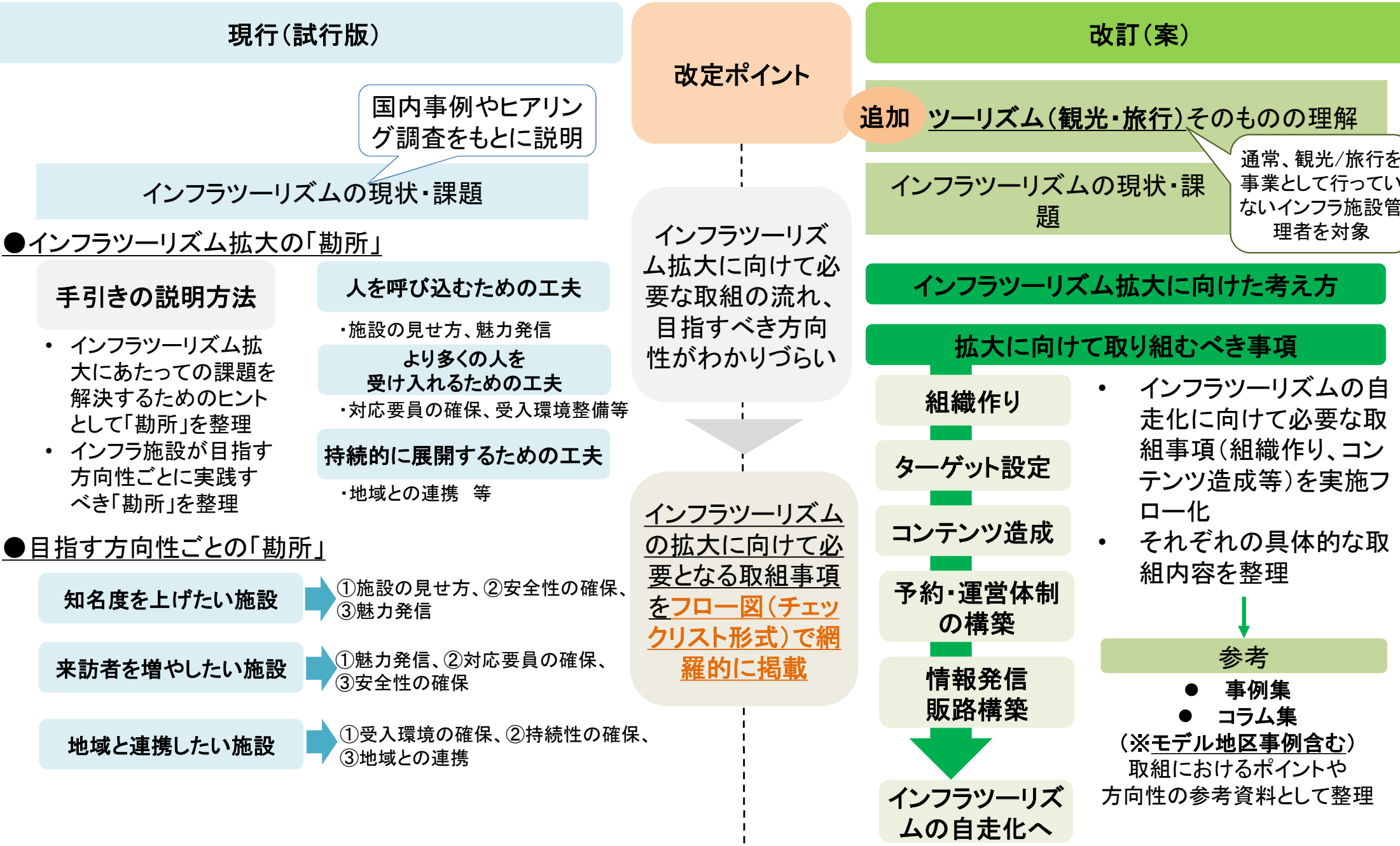
【参考】湖面利用の状況

令和2年度より、水陸両用バス、バンジージャンプ、カヌー・カヤック等の湖面利用が開始されました。令和3年3月に河川空間のオープン化(都市・地域再生等利用区域指定)に伴い、ダムサイトでのキッチンカー販売や日本酒の貯蔵が開始されました。また、秋期より観光船が新たに運行を予定しています。



3. 「インフラツールイズム拡大の手引き」 改訂の方向性

3. 「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の方向性



3. 「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の方向性

現行（試行版）

1

現状と課題

1 現状

2 課題

2

インフラツーリズムのさらなる拡大に向けて

1 拡大に向けた考え方

2 全体のレベルアップでインフラツーリズムを拡大

3 拡大への取り組み

3

インフラツーリズム拡大の「勘所」（かんどころ）

1 「勘所」の概要

2 「勘所」の使い方

3 人を呼び込むための工夫

4 人を受け入れるための工夫

5 持続的に展開するための工夫

4

先進事例の取り組み

ハッ場ダム（群馬県）

鬼怒川上流ダム群（栃木県）

首都圏外郭放水路（埼玉県）

宮ヶ瀬ダム（神奈川県）

国道 289号 八十里越（新潟県・福島県）

天ヶ瀬ダム（京都府）

明石海峡大橋（兵庫県）

中国技術事務所+国道 185 号 休山トンネル（広島県）

小谷村砂防堰堤群（長野県）

第二海堡（千葉県）

はじめに

手引き活用のポイント

口 絵

1

現状と課題

1 現状

2 課題

2

インフラツーリズムのさらなる拡大に向けて

1 拡大に向けた考え方

2 全体のレベルアップでインフラツーリズムを拡大

3 拡大への取り組み

3

インフラツーリズム拡大の「勘所」（かんどころ）

1 「勘所」の概要

2 「勘所」の使い方

3 人を呼び込むための工夫

4 人を受け入れるための工夫

5 持続的に展開するための工夫

4

先進事例の取り組み

ハッ場ダム（群馬県）

鬼怒川上流ダム群（栃木県）

首都圏外郭放水路（埼玉県）

宮ヶ瀬ダム（神奈川県）

国道 289号 八十里越（新潟県・福島県）

天ヶ瀬ダム（京都府）

明石海峡大橋（兵庫県）

中国技術事務所+国道 185 号 休山トンネル（広島県）

小谷村砂防堰堤群（長野県）

第二海堡（千葉県）

改訂（案）

- はじめに
 - 手引き活用のポイント
1.

インフラツーリズムを取り巻く環境

(ア) 日本人の国内旅行の現状

(イ) 訪日外国人の日本旅行の現状

(ウ) インフラツーリズムに対する受容性
2.

インフラツーリズム拡大に向けた考え方

(ア) 拡大に向けた考え方

(イ) インフラツーリズム拡大に向けて取り組むべき事項

(ウ) 事業の推進
3.

インフラツーリズム拡大に向けて取り組むべき事項

(ア) 取組の手引き

① 組織作り

② ターゲット選定

③ コンテンツ造成

④ 予約・運営体制の構築

1 ー予約体制の整備

2 ーガイドの育成と体制構築

⑤ プロモーション及び情報発信ツールの整備

⑥ 販路構築
4.

事例集

(ア) 国内事例（※モデル地区事例を含む）

(イ) 海外事例
5.

コラム集

(ア) 訪日外国人受入のポイント

(イ) 国内教育旅行誘客のポイント

(ウ) インフラ施設のツーリズム以外の活用例

3. 「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の方向性

手引きの新旧対応表

現行（試行版）

はじめに
手引き活用のポイント
□ 絵



改訂（案）

● はじめに	踏襲
● 手引き活用のポイント	

<はじめに>

- ・インフラツーリズムの現状や期待について記載

<手引き活用のポイント>

- ・インフラ活用のお考え方、魅せ方の工夫、安全性確保、地域連携及び地域活性化の観点でインフラツーリズムを進めるにあたっての手引き活用のポイントを整理

<はじめに>

- ・試行版を踏襲

<手引き活用のポイント>

- ・試行版を踏襲しつつも、下記手引書の位置づけを明確化する内容を追加

【対象者】インフラ施設管理者 等

【活用の方向性】試行版の観点を踏襲しつつも、各地域で継続的な運営体制に構築を目的とする

3. 「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の方向性

現行（試行版）

1

現状と課題

1 現状

2 課題



改訂（案）

- 1. インフラツーリズムを取り巻く環境
 - (ア) 日本人の国内旅行の現状
 - (イ) 訪日外国人の日本旅行の現状
 - (ウ) インフラツーリズムに対する受容性

改訂

<1-1. 現状>

- ・インフラツーリズム参画施設数やポータルサイト閲覧数の概要を記載

<1-2. 課題>

- ・インバウンドに向けたアンケート調査をもとに、現在のインフラツーリズムへのイメージや受入課題の概要を記載

<1-1. インフラツーリズムを取り巻く環境>

- ・前段としてインフラツーリズム参画施設数などの国内の概要を記載

<(ア) 日本人の国内旅行の現状>

<(イ) 訪日外国人の日本旅行の現状>

- ・国内、海外それぞれのターゲット層ごと(団体・個人、教育・一般、アジア・欧米等)の一般的な旅行ニーズ等を整理、通常観光や旅行を事業で行っていない施設管理者等へ、ツーリズムそのものへの理解を図る

<(ウ) インフラツーリズムに対する受容性>

- ・受容性調査をもとに一般消費者がインフラやインフラツーリズムに対するイメージを整理する。また課題等についても掲載する

3. 「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の方向性

現行（試行版）

2

インフラツーリズムのさらなる拡大に向けて ……

- 1 拡大に向けた考え方 ……
- 2 全体のレベルアップでインフラツーリズムを拡大
- 3 拡大への取り組み ……



改訂（案）

2. インフラツーリズム拡大に向けた考え方

- （ア）拡大に向けた考え方
- （イ）インフラツーリズム拡大に向けて取り組むべき事項
- （ウ）事業の推進

改訂

<2-1. 拡大に向けた考え方>

- ・土木広報+周辺観光地の資源の活用・連携の考え方のもと、拡大に向けた方策を掲載
- ・※「インフラツーリズムの定義と分類」で考え方を掲載

<2-2. 全体レベルアップでインフラツーリズムを拡大>

- ・各インフラ自身の魅力の磨き上げや、地域との連携など、インフラツーリズム拡大に向けて重要な事項を掲載

<2-3. 拡大への取り組み>

- ・拡大に向けた取り組みの実施フローのまとめ

<2. インフラツーリズム拡大に向けた考え方>

<(ア) 拡大に向けた考え方>

- ・インフラタイプ別の拡大方策や拡大に向けたステップ等の有識者懇談会での議論の内容を整理
- ・インフラツーリズムの拡大において重要なツアーの料金設定や収支の考え方についても整理（個別の事例は、後述の「4. 事例集」に掲載）

<(イ) インフラツーリズム拡大に向けて取り組むべき事項>

- ・インフラツーリズムを実践するにあたって必要となる取り組むべき具体的事項（組織づくり、ターゲット選定、コンテンツ造成等）をフロー形式で整理

<(イ) 事業の推進>

- ・インフラツーリズムの推進におけるPDCAサイクル等を整理

3. 「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の方向性

現行（試行版）

3

インフラツーリズム拡大の「勘所」(かんどころ) ……

- 1 「勘所」の概要 ……
- 2 「勘所」の使い方 ……
- 3 人を呼び込むための工夫 ……
- 4 人を受け入れるための工夫 ……
- 5 持続的に展開するための工夫 ……

<3. インフラツーリズム拡大の「勘所」>

- ・インフラツーリズム拡大にあたって課題を解決していくためのヒントとして「勘所」を整理
- ・インフラツーリズム拡大のための勘所を、「人を呼び込むための工夫」「人を受け入れるための工夫」「持続的に展開するための工夫」に分けて、それぞれの内容を具体的な事例を交えて整理

改訂（案）

3. インフラツーリズム拡大に向けて取り組むべき事項

(ア) 取組みの手引き

- ① 組織作り
- ② ターゲット選定
- ③ コンテンツ造成
- ④ 予約・運営体制の構築
 - 1ー予約体制の整備
 - 2ーガイドの育成と体制構築
- ⑤ プロモーション及び情報発信ツールの整備
- ⑥ 販路構築

改訂

追加

<3.インフラツーリズム拡大に向けて取り組むべき事項>

<3.(ア) 取組みの手引き>

- ・「2.(イ) インフラツーリズム拡大に向けて取り組むべき事項」で記載した、各取組項目の具体的な実施内容を整理。必要に応じて、各項目の具体的な取組例を国内事例より引用

<例) ①組織づくり>

- ・各地域において、意思決定機関となる協議会にどのような組織を入れると良いかや、各組織(ダム管理者等)の役割の明確化等について掲載

3. 「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の方向性

現行（試行版）

4

先進事例の取り組み

ハッ場ダム（群馬県）
鬼怒川上流ダム群（栃木県）
首都圏外郭放水路（埼玉県）
宮ヶ瀬ダム（神奈川県）
国道 289 号 八十里越（新潟県・福島県）
天ヶ瀬ダム（京都府）
明石海峡大橋（兵庫県）
中国技術事務所＋国道 185 号 休山トンネル（広島県）
小谷村砂防堰堤群（長野県）
第二海堡（千葉県）

改訂（案）

4. 事例集

- （ア）国内事例（※モデル地区事例を含む）
- （イ）海外事例

5. コラム集（内容は現時点案）

- （ア）訪日外国人受入のポイント
- （イ）国内教育旅行誘客のポイント
- （ウ）インフラ施設のツーリズム以外の活用例

改訂

追加

＜4. 先進事例の取り組み＞

- ・インフラツーリズムの先進的な事例について、取り組みの全体像がわかるよう掲載している

＜4.事例集＞

- ・モデル地区の事例を国内事例として整理
- ・試行版で「コラム」として整理されていた海外事例を整理
- ・単なる事例集とするのではなく、各事例において「何が優れているか」、「どんな課題があり、それをどのように解決したか」を整理

＜5. コラム集＞

- ・「拡大に向けた考え方」や「取り組むべき事項」で記載できなかった内容や＋αの情報を、コラムとして整理する
- ・掲載する具体的な内容は今後検討

4. 今後の予定　ー令和3年度のスケジュールー

	令和3年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(全体)	手引きの改定検討					第8回 有識者懇談会 ・ R3 年度上半期の成果報告・手引き骨子案の提示	手引きの改定検討					第9回 有識者懇談会 ・ R3 年度の成果報告・手引きの改定	
鳴子ダム	自走に向けた検討						自走に向けた検討						
天ヶ瀬ダム	自走に向けた検討						モニターツアー(事業者) (予定)	自走に向けた検討					
							ガイドマニュアル・研修(検討中)						
来島海峡大橋			モデル事業者の公募				事業者によるモデル ツアー実施	自走に向けた検討					
鶴田ダム	自走に向けた検討						自走に向けた検討						
ハッ場ダム	地域による自走						地域による自走						
白鳥大橋			モニターツアー実施に向け た検討				モニターツアー (事業者/一般向け) (予定)	自走に向けた検討					
日下川 新規放水路			ファムツアー実施に向けた 検討			ファムツアー(有識者向け)	自走に向けた検討						
						ガイドマニュアル(検討中)							

4. 今後の予定 ー事業全体スケジュールー

事業全体	2019	2020	2021	2022～
インフラの観光資源化 全体の進め方	モデル地区における自走化に向けた支援			
インフラツーリズム拡大の手引きの更新	手引き更新			全国展開

モデル地区（2019年選定）		1年目	2年目	3年目	4年目以降
各地域における検討	運営体制の構築	協議会の立ち上げ	運営体制の構築（ツアー事業者）		協議会等の継続
	インフラ施設見学の深度化・地域の観光資源と連携した内容の検討	コンテンツの検討、見学・体験の運営体制の構築			インバウンド対応の強化
		地域観光資源との連携（インフラとの「ストーリー」構築）			
	インフラツーリズムの実践	運営体制の検討	モニターツアー等の実施		海外向けプロモーションの強化
			旅行商品の造成		
			販売戦略の構築		
		自走に向けた中間総括	収益事業として自走		

モデル地区（2020年選定）		1 年目	2 年目	3 年目	
各地域における検討	運営体制の構築		協議会の立ち上げ		自走に向けた中間総括
	インフラ施設見学の深度化・地域の観光資源と連携した内容の検討	運営体制の構築（ツアー事業者）			
		コンテンツの検討、見学・体験の運営体制の構築			
	インフラツーリズムの実践	地域観光資源との連携（インフラとの「ストーリー」構築）			
		運営体制の検討	モニターツアー等の実施		
旅行商品の造成					
			販売戦略の構築		